	ı
	ı
里至苯是	ı
事未留	ı

女性デジタル人材育成事業 【広島県三原市】

交付金額

総事業費

62^{fm}

2,076[™]

地域の実情と課題

女性の就労率が男性と比較して低く、結婚や出産を機に仕事を辞 めるケースがあり25歳~44歳にかけてM字カーブの形状がみら れる一方で、仕事と子育ての両立の推進要望は高い。 子育て期等の女性は就労に対する時間的及び物理的な制約があ ることから、そうした事情を抱える女性が柔軟な働き方の選択肢を 広げることができる環境が必要である。

目的 目標

主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象とした「テレワー クスキルアップ講座」を開催し、オンラインで働くための基礎知識や、 実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ。 また、当該専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供ま で一体となった支援を行う。

※主な目標:()内は実績

事業に参加した女性の就職人数31人(24人)

事業の特徴

①テレワークスキルアップ講座(全3講座)の開催 専門講師によるスキルアップ講座により、オンラインで働くための 基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ

②希望者への就労機会の提供

専門講師のネットワーク等により、本講座で身に付けた知識を活 かすことのできる就労機会の提供(オンラインアシスタント)を行う

連携団体

- ○三原商工会議所 ○三原臨空商工会
- ○三原公共職業安定所 ○広島県

事業の効果

講座参加者37人のうち、就労を希望した15人(全て)の女性が就 労を実現した。

本事業のスキームは、テレワークスキルアップ講座を受講後に、 希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を 一体的に行うものであったことから、希望した全ての女性に就労機 会の提供を行うことができたことは一定の成果があったものと考え る。

今後の課題

講座受講者が就労機会の提供を望まない理由として、「もう少しス キルをアップして挑戦したい「イベントが重なっており、気持ちにゆ とりがない状況」など将来的にテレワークをしたいことが大半を占 めた。

このため、座学のみにとどまらず、実際にテレワークで働いている 先輩女性の話を聞いたり、質問できる体制を講座内に整えること で、個々人のタイミングにあわせたテレワーク稼働ができるような 支援策を検討していきたい。

事業の概要

- ◆テレワークスキルアップ講座の開催
 - ○テレワークのはじめかた講座 (11月6日、11月13日、11月20日、11月27日)
 - ○テレワークのお仕事体験講座(ワード・エクセル・フォームマーケティング) (11月26日、12月3日、12月10日、12月17日)
 - 〇テレワークでいかせるパワーポイント講座 (1月14日、1月21日、1月28日、2月4日)

主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象に、専門講師による「テレワークスキルアップ講座」を開催。【参加者数】女性37人

オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学んだ。また、専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行った。





案内パンフレット